明徳緑地２０１３年（平成２５年）の観察記録

２０１３年は総数１７９名の方に参加いただきました。

明徳緑地自然観察会

１月２６日（土）９：３０～１２：００　天候晴れ　参加者　１０名（指導員　布目、高木）

テーマ「冬芽の観察と渡り鳥」寒の入の観察会で、みなさん完全防備で参加。テキストに６つの冬芽を載せ、ひとづつ観察①ヤマコウバシ②ザイフリボク③ヤマハゼ④コバノミツバツツジ⑤コブシ⑥ミヤマガマズミであったが、その他にタカノツメ、ネジキ、アズキナシなどを見ることが出来た。一度に冬芽を見ると他と比較でき特長がよく分かるようなった、足元では、フユノハナワラビ､ジャノヒゲフユイチゴなどを観察｡森の中は野鳥の声が盛ん聞かれた。

以前カスミサンショウオがいた水たまり

一羽の鳥が我々の周りに姿を表し、色が褐色できれいであった「ルリビタキかな」「ブルー色がみえない」といっていたら、我々の周りを時計回りに２回も回ってくれて､「尾ぽがブルーだ」ということで、ルリビタキの♀と確認できた。その他、ジョウビタキ、シジュウガラ、メジロ、コゲラ、エナガなども見ることができ、明徳池で少しねばって、カワセミの飛ぶ姿も見られた。

明徳緑地自然観察会

２月２６日（土）９：３０～１２：００　天候　晴れ　参加者　１３名（指導員　布目、堀田、堀田時、妹尾、高木）　　テーマ「芽吹きで春の気配を感じよう」２月の下旬となっても朝の温度は０度から氷点下の日が続いている中での観察会となった。まず向かったのは、園路の外、緑地整備の時、斜面の土砂止に植えられた、オオバヤシャブシの雄花の穂が緑色になり、一部葉っぱが出ているのが観察できた。冬芽は先月と同じで、ムラサキシキブの裸芽、ガマズミ、ネジキ、ザイフリボクは芽鱗が開いて白い毛が出ていた。コブシは毛皮を羽織っていた。後、観察したものは、タブノキ、ハクサンボク、ヒメヤシャブシ、コシアブラ、ハクモクレンなどであった。この寒い中、ツバキの花、ボケの花、トウカイタンポポの花が確認できた。２月の観察会で必ず行くところは、広場横の池。今年もニホンアカガエルの卵が２～３０個あり、何となくホットした。

明徳緑地自然観察会

３月２３日（土）９：３０～１２：００　天候　晴れ　参加者　１５名（指導員　布目、久村、堀田時、高木、古間木　）　　テーマ「春の花、コブシ、タンポポ、カンヒザクラ」例年、この時期の桜見物は、難しいので、早咲きのカンヒザクラをテーマに上げているが､今年の名古屋の桜開花は３月１９日、当日、まず、カンヒザクラの所へ、満開であった。その場所から森の方を見ると、桜が満開、エドヒガンで日当たりが良かったので咲いたようです。森の中の大きなエドヒガンはチラホラ、オオシマザクラは白い大きな花が

２～３輪咲いていた。テーマのコブシは１本白く花を付けていた。タンポポも足元に花を付けており、いずれも在来種であった。コバノミツバツツジは、ツボミが紅赤色で、後４～５日で開花と思われた。広場横の池に行くと、ニホンアカガエルの卵からオタマジャクシとなっていた｡また､近くにはヒキガエルの長い卵が産んであり、明徳池にもあった。その池で今年始めてツバメを見た。ラジオで徳島で３月２２日にツバメが古巣に帰って来たと言っていたので、やはり、今年は早く飛来したのだなとおもった。もうひとつ、緑地の中はいたる所でヒサカキの花が咲いており、雄花、雌花の違いを虫眼鏡で確認した。

ヒキガエルのタマゴ

明徳緑地自然観察会

４月２７日（土）９：３０～１２：００　天候　晴れ　参加者　１９名（指導員　布目、堀田、久村、高木、古間木）テーマ「新緑とガマズミ、アズキナシの花」

この時期になると、緑地の中は新緑で覆われる。コナラ、アベマキは雄花が垂れ下がってよく目立つ｡コバノガマズミは満開、アズキナシは大きな木が４本あるが、白い花を付けどれも満開であった。アズキナシとよく似ているが葉の裏が白いウラジロノキがあるが、これも、白い花を付けていた。（写真）その他、カマツカ、ヒメコウゾ、クワ、ムクノキの花とキリの木の花も咲いていた。例年より早いのではないかと思う。ガマズミ、マユミはツボミであった。昆虫ではアゲハチョウが羽化したばかりか、翅を広げて乾かしているところと遭遇し、じっくり観察ができた。

明徳緑地自然観察会

５月２５日（土）９：３０～１２：００　天候　晴れ､２８℃､参加者　１３名（指導員　布目､､高木､）　　テーマ「ネジキの花とスイカズラの花」

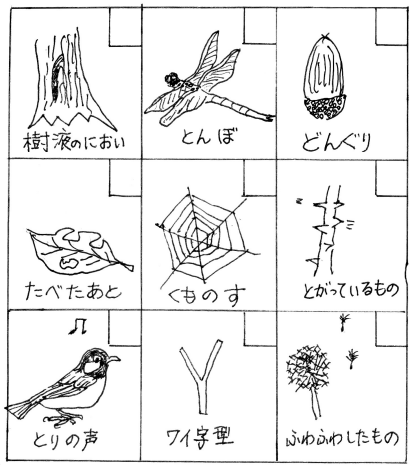
明徳緑地には“ネジキ通り”なるものがあり、道の両側に白い花を付けたネジキがあり、辺り一面甘い香りがしていた｡この近くによく似たナツハゼもあり､比較もできた。

スイカズラは日当たりのいい所は花が終わっていて、日陰のところで花が見られた。オオシマザクラのサクランボが、赤から黒く熟していて、美味しそうなものを、一つ口にした。花が終わったものは、すでに果実になっており、ヒメコウゾ、クワ、マユミ、ミヤマガマズミ、コバノガマズミの果実を確認した。花を付けて見頃のものは、ガマズミ（写真）とウツギであった。人の高さぐらいあり一面花を付けている所は見事でした。アカガエルのオタマジャクシを確認した水辺では１ｍぐらいのアオダイショウがいた。また、２箇所で、センダンの紫の花が満開でした。

明徳緑地自然観察会

６月２２日（土）１０：００～１２：００　天候　晴れ　参加者　３８名（内、散策サポーター１１名）　　テーマ「初夏の花と半夏生」

今回は名東区の自然散策会として実施。一般参加者は子どもも含めて２７名、ゆったりコースと一般コースに分けて出発。いつもと違うのは、ネイチャーゲームシートを持って、葉っぱの形を覚えたり、フィールドビンゴで見たり、聴いたり、匂ったものをチェックしながら散策した。子どもたちは、いつもより積極的にキョロキョロと見渡し、結果的にシロスジカミキリやタマムシを見付けた。バッタも積極的に追いかけていた。この時期花はアカメガシワの雄花と雌花が目立ち、シャシャンボの花も見られた。目玉になる「半夏生」は葉が半分白くなり、「半化粧」みたいと感想がきかれた。明徳公園はクリの木が沢山あるが、長い雄花がいっぱい下に落ちており、木に栗の赤ちゃんが着いていて「かわいい！！」という声も。そのほか、ネジバナのピンクの花、ネムノキの木の同じくピンクの花も見ることが出来た。終わってから感想を聞くと、「今回子どもをこの散策会に連れ出したが、子どもがこんなに興味を持ってくれるとは、おどろいた」「ゆったりコース」を選んだが、次回もゆったりと歩けるコースを作ってほしいなどの意見が聴かれた。、



明徳緑地自然観察会

７月２７日（土）９：３０～１２：００　天候　晴れ、参加者　１５名（指導員　布目、久村妹尾、堀田時、高木、）　　テーマ「樹木に集まる昆虫たち」　この日のテーマの昆虫に出会えるかとアベマキ、コナラ、アラカシ等の樹木を探すもカナブンだけ、早速、植物に目を向けると、ヤブミョウガの花に出会う。先月の半夏生の所へ行くと、花がまだ残っていて、葉はかなり緑に戻っていた。クサギが花を木いっぱい付けていい匂いをさせており、モンキアゲハと思われる黒いチョウが盛

んにミツを吸いにきていた。左の写真はクリが一杯実を付けて、下に落ちていたが、イガの中にまだ実はなかった。初夏に花を付けていたものは、現在、実になっている。エゴノキ、マユミ、テンダイウヤク、タカノツメ、ウラジロノキなど、あと、花がみられたのは、ミズヒキ、フユイチゴ、などで特に、フユイチゴは雄しべ、雌しべの数が多いのが解った。フユイチゴの黒いツブツブの数だけ、雌しべがあるよで、みんな、なるほどと納得した。

明徳緑地自然観察会

９月２８日（土）　９：３０～１２：００　天候　晴れ　参加者　１５名（指導員　布目、堀田時、高木、古間木）　　テーマ「秋の野草とドングリ」

秋分の日も過ぎ、ススキの穂も出て着実に秋の気配が感じられるようになった。日当たりのいい所のケヤキの木は紅葉が始まっていた。今回の目玉は野草にふさわしいサクラダテの花、少し湿っぽい場所にまとまって花を付けていた。近くには、同じ仲間のミズヒキも花を付けていた。ドングリでは、スダジイ、マテバシイの実を見つけて食べられる話。木の実では、ガマズミがすでに真っ赤になっているのがあり、クサギも青い実が、サワフタギもルリ色の実を付けていた。その他、エゴノキ、マユミ、テンダイウヤクの果実、アオギリの果実の観察をした。今回、散策道より離れるが、花が終わったクモキリソウがあるとの情報で７～８株を確認した。また、その近くには、ツルグミも残っていた。途中、シマヘビに出会った。帰りには明徳池でカワセミを３羽確認することが出来た。

サクラダテの花

明徳緑地自然観察会

１０月　２６日（土）　９：30~12：00　天候　雨のち曇り　参加者７名（指導員　布目、高木）
テーマ「赤い実いろいろと野鳥」

雨の中、傘をさして出発、赤い実ということで、カラスウリをまず見つけて、中から種子を取り出し「大黒様の顔？それともカマキリの顔？」と話す。赤い実は、ソヨゴ、アズキナシ、ウラジロノキ、カマツカ、クロガネモチ、マユミなど。フユイチゴも赤い実を付け甘く熟していた。エゴノキは緑色の実を、サワフタギはブルーの実をそれぞれ着けていた。花では先月もあったが、キンミズヒキ、ミズヒキ、サクラダテがまだ咲いていたし、ヤマハギの花もまだ咲いていた。明徳

池にはカルガモとカイツブリ、ゴイサギで、渡りの鳥はまだ入っていなかった。紅葉もヤマハゼとカキノキが色が変わっていた。最後にスダジイの実が沢山落ちていて、拾って帰った。

１１月　２３日（土）10：00~12：00　　天候　晴
参加者３４名（内指導員、散策サポータ９名）

　この日は名東区の自然散策会として実施。散策サポーター９名で２コースに分かれて実施。お楽しみゲームシートを使い①拾った落ち葉をスケッチしてね　②見たりきいたりしたら☑してねと、見られる鳥や遠くの山などの名前を書いておいた。③赤い実ビンゴとして、当日見られる赤い実のイラストを載せ、散策サポーターと参加者が会話をしながら、案内が出来るようにした。落ち葉のスケッチはカクレミノ、サクラ、ナンキンハゼ、ムクノキ。赤い実はソヨゴ、カラスウリ、ガマズミ、マユミ、カキノキ、フユイチゴ、アズキナシ、クロガネモチ、ウラジロノキ。最後にアンケートを取ったが参加者の感想「御岳山、猿投山、中央アルプス等が見られてよかった。」「素晴らしい天候に恵まれてガイドしていただき、いろいろな知識を知り楽しかった。」と天候ならではの散策会でした。